

## 女性への取り組み

# 笑顔で生き生きと すごせるように

女性は家庭にあっては家族の健康に気を配り、精神的な支えになり、未来を担う子どもを育てるといった重要な立場にあります。また、よりよい社会をつくるためにその一員として大切な役割を果たしています。家庭や社会が健全に営まれるためにも、女性サブコミッティでは、女性たちが生き生きと輝く社会をめざしています。

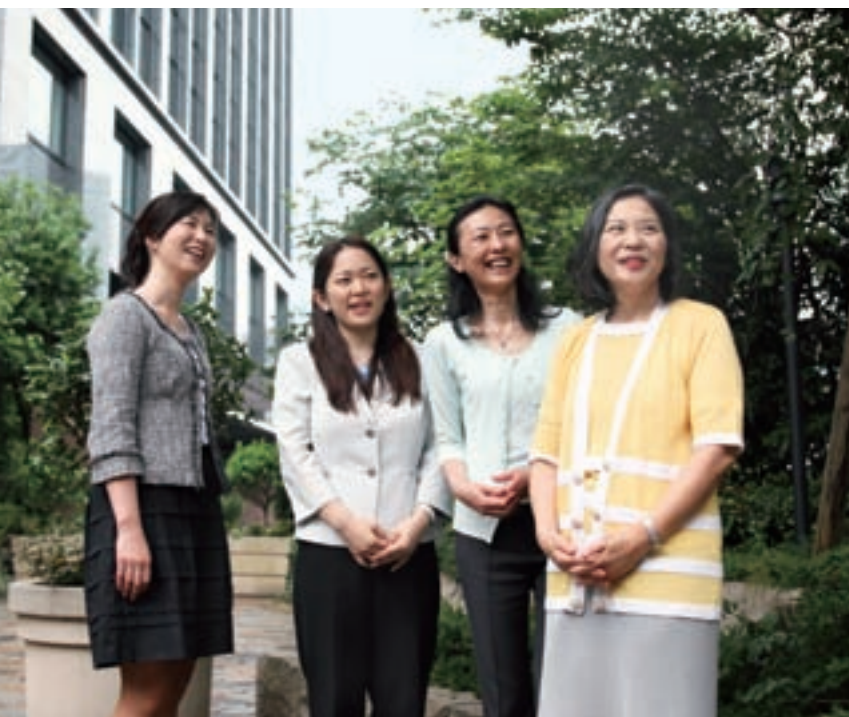
女性を取り巻く課題を考え、現在は大きく4つのテーマに力を入れています。

1つは、DV（ドメスティックバイオレンス）の経験にあった女性へのサポートです。DVの被害を受けた女性のこころをケアし、前向きに生きていく力を身につけてもらうために「こころのcare講座」の実施・普及を支援しています。

2つめは、子育てに悩む親へのサポートです。児童虐待防止の観点から、子どもにとっても親にとっても心地よい親子関係を築くための育児法「スター・ペアレンティング」の普及活動を進めています。

3つめは、女性向けの健康情報の提供です。現在はその一環としてJ&J社員ボランティアとともに健康情報を音訳する「声の花束」活動に取り組んでいます。

4つめは、ひとり親家庭を対象とした自立支援です。経済的な自立に向けた相談や支援が広がっていくよう、「シングルマザー支援事業」を進めています。



女性サブコミッティの会合はいつも和やかな雰囲気です。左から2番目がリーダーの森さん。

## 一人ひとりの女性に寄り添い 暮らしの手助けをしたい

女性サブコミッティ リーダー  
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス(株)  
森 香奈子

この数十年で女性の社会進出が進み、女性自身も、多くの方が自分の活躍の場を広げていくことをめざしています。一方で、子育てをしながら働くことに悩みを抱えていたり、助けを求める相手がいないために孤立感を感じている女性も少なくありません。

私たちは、一人ひとりの女性に寄り添い、彼女たちが健康的にいきいきと暮らす手助けをしたいと願っています。

DV、子育て、女性のための健康情報など、従来からの取り組みに加えて、2011年度からはひとり親家庭の問題にも向き合っています。周囲からのサポートが得難い環境での子育てや、経済的な困難に直面している方を対象に、就業や自立に向けた総合的な支援に力を入れていきたいと思っています。

前向きに生きていける力を

## こころのcare講座

特定非営利活動法人レジリエンス  
[www.resilience.jp/](http://www.resilience.jp/)



DVのさまざまな形態、トラウマに対するための対処法、家族や自尊心などについて、ファシリテーター（進行役）とともに学び考え、女性自身が自分のパワー（resilience：回復力）を再確認し、新しい自分の姿を見つけていく講座です。

また、この講座を全国各地域に普及させるために、ファシリテーターの養成講座にも力を入れています。

子育ての悩みが解消する育児法を学ぶ

## スター・ペアレンティング・プログラム

NPO法人女性と子どものエンパワメント関西  
[www.osk.3web.ne.jp/~videodoc/](http://www.osk.3web.ne.jp/~videodoc/)



育児に対する過剰な責任感や時間的・精神的余裕の不足のために子育てを息苦しく感じて虐待につながるケースがあります。スターペアレンティングは、母親が抱える問題を解決し、親自身も自分を大切にしながら、叩かず、甘やかさず、楽しみながら子育てする方法です。この方法を学ぶ講座や広く普及させるためのファシリテーター養成講座を開催しています。

「女性のための健康情報提供」

## 音訳ボランティアサイト 「声の花束」

公益社団法人日本フィランソロピー協会  
[www.philanthropy.or.jp](http://www.philanthropy.or.jp)



活字メディアによる情報入手が困難な方々の社会参加を促進するため、生活情報や文学作品などの情報を音声の形で配信しているのが「声の花束」サイトです。

現在、J&Jの社員有志が音訳ボランティアとしてこのサイトに参加し、ジョンソン®ベビーの「赤ちゃん相談室」など女性向けの健康に関する情報の音訳活動を続けています。

ひとり親家庭の悩みに応える環境整備

## シングルマザー支援事業

NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ  
[www.single-mama.com/](http://www.single-mama.com/)



ひとり親世帯全体での貧困率は50.8%（厚生労働省、平成21年）。特に母子世帯数は父子世帯数の約8倍（同、平成18年）に達します。そうした背景の中で、子育てや日々の生活について悩むシングルマザーが自立に向けて相談できる環境を整備し、支援に携わる人材のトレーニングや、支援者の拡大を目的としたシングルマザー支援者養成講座を開催しています。

## ▶ 支援の現場から こころのcare講座のファシリテーター養成

### DVの正しい認識を広め、 社会を変えていく

特定非営利活動法人レジリエンス  
中島 幸子さん

私たちは、DVの被害を受けた女性をケアし、前向きに生きていく力を身につけてもらうため「こころのcare講座」を開設しています。また、この講座を全国に広げていくためにファシリテーター養成講座も設けています。現在600名を超えるファシリテーターが誕生し、全国50カ所で講座が開催されています。

DVやトラウマに関する講演を開くと、講演を聞いた男性から「自分がやってきたことはDVかもしれない。もっと早く気づくべきだった」といった声が聞かれるようになりました。

DVへの正しい認識は残念ながらまだ社会に浸透していませんが、より多くの人正しい知識を持つことで、身近にいる女性を適切にサポートできるようになります。

DVはパワハラや虐待にも共通する面があります。こうした活動を通して肉体的・精神的な暴力が減り、社会が変わっていくことが私たちの理想です。



### 傷ついて弱くなった自分の力を 回復してほしい

一般社団法人 notice  
竹内 由紀子さん

私は、ファシリテーター養成講座を受講して、現在、千葉県で「女性のためのcare講座」を実施しています。

ファシリテーター養成講座では、12回の講座一つひとつのテーマが明確になっています。例えばグリーフ（悲嘆）ケアでは、私自身、自分がどのような心の傷を抱えているのか、自分の本当の感情はどのようなものなのかに気づかされました。

自分の心の傷に気づくことは、自分で解決する力を身につけることにつながり、DVの被害を受けた女性にとって非常に大切なことです。

私はDV加害者向けのプログラムも開いています。レジリエンスファシリテーター養成講座で学んだことは、ここでもパートナーの傷つきに共感するという点で活かしています。

心に傷を受けた方々が、今後自分が何を大切にしながら生きていくか、多くの選択肢を見つけられるようになってほしいと願っています。

